

表題 地域のネットワークを活かし、ダイバーシティ推進の中核拠点としての役割を果たす

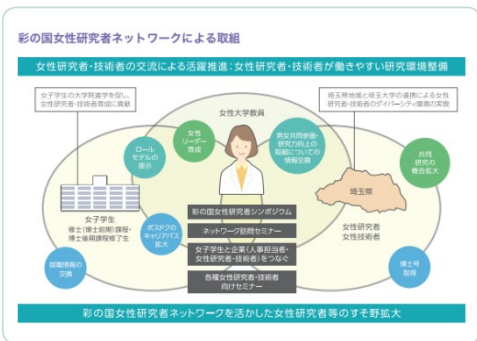
特色ある取組

彩の国女性研究者ネットワーク

<http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/>



上段：シンポジウム
下段：研究機関訪問セミナー



埼玉大学は、埼玉県の大学・研究機関・企業が相互に協力・連携し、各機関の女性研究者・技術者が交流し、女性研究者・技術者の活躍を推進するために、2017年度に、埼玉県の5つの研究機関とともに「彩の国女性研究者ネットワーク」を立ち上げました。現在、本ネットワークには、22機関が参加しています。シンポジウムの開催、ロールモデル集の発行、大学生・大学院生向けの研究機関訪問セミナー、誰もが働きやすい環境づくりに向けた情報交換などを毎年実施しています。本ネットワークを県内企業、研究機関、大学等に拡大し、女性研究者・技術者の活躍により、埼玉県地域全体のダイバーシティ推進を図り、多様な拠点と発想による研究・技術開発のさらなる活性化を目指しています。

成果と評価

彩の国女性研究者ネットワーク及びWISE-P事業への地域の期待は高まりつつあります。ネットワークの参加機関数は年々増加し、本ネットワーク主催のシンポジウムでは、ダイバーシティをテーマに地域との情報共有を図っており、その様子がマスメディアでも取り上げられています。WISE-P事業では、2021年度、「サイエンス体験スクール」「出前授業」等を実施し、中学生1,497名、高校生729名、保護者26名、教員32名の2,284名の参加がありました。新聞やテレビ局等に全8回取り上げられています。埼玉大学は、地域の大学・行政・市民の協働連携を牽引し、地域全体のダイバーシティ環境を推進するための中核拠点としての役割を果たしていきます。

彩の国で育もう、理工系女子の未来を！

彩の国から変えよう、理工系の未来を！

WISE-P (Women in Science and Engineering Program)

2021年度から、「彩の国で育もう 理工学系女子の未来を！彩の国から変えよう 理工学系の未来を！」をテーマに、WISE-P (Women in Science and Engineering Program) を実施しています。このプログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の採択を受けて、大正製薬株式会社を共同機関、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会を連携機関とし、地域の皆様のご協力のもとに進めています。このプログラムを通して、女子中高生の理工系進路選択エンカレッジ拠点として、女子中高生のみなさんの理系への進路選択を励まし、支援しています。



2021年度に実施した
出前授業の様子
(中学校：11校、高校：4校)

WISE-P : <https://park.saitama-u.ac.jp/~wise-p/>